

No.	QA
1	<p>Q：関連文書格納先はdoc2でなく doc1でもよいですか？</p> <p>A：プロセス定義内で重複していない変数である必要があります。なので、doc01を既に使っていたらdoc02を使う必要があります。</p>
2	<p>Q：<文書代入>を使わない場合、処理が2回となり遅くなるということでしょうか？ それとも必ず記載が必要でしょうか。</p> <p>A：ご認識の通りです。複数の<文書部品代入>を使う場合は、<文書代入>を入れないと、毎度文書に対して更新がかかるので、性能悪化を招きます。</p>
3	<p>Q：文書部品代入を今回2つにわけていますが、まとめてそれぞれのitem-idの設定をおこなうことは可能ですか？</p> <p>A：不可です。1部品に対して、1つの<文書部品代入>が必要となります。</p>

No.	QA
4	<p>Q：更新されるdoc02 の実際の更新される前とされたデータを一覧で見るのは可能でしょうか</p> <p>A：更新履歴定義を設定していれば、どこがどう更新されたか一覧でみることができます。</p> <p>更新履歴定義</p>
5	<p>Q：定期定義処理に関して、PCにログインしていないと実行されませんか？</p> <p>A：PCにログインしていなくても実行されます。</p>
6	<p>Q：バージョンはいくつから利用できる機能か教えてください</p> <p>A：関連文書情報格納先の機能はVer5.3.0より利用が可能です。 (※DCS、オンプレユーザーの場合、クラウド版は常に最新版なのでVerは関係ありません。)</p> <p>機能追加早見表</p>

No. QA

7

Q：イベントハンドラにて値の代入を行うことができますが、差戻しなどによりプロセスが戻った場合に値を初期化することはできますか。また、同じイベントハンドラが2回以上実行される場合には実行しないような設定を行うことができますか。

A：可能です。
差戻しボタンクリック時のイベントハンドラで下記イベントハンドラを記載すれば値をクリアすることができます。

```
<文書部品代入 document="doc02" item-id="更新した部品">
  <文字列 value=""/>
</文書部品代入>
```

同じイベントハンドラを2回以上実行しないためには、部品代入をする場合に条件分岐を設定すれば良いかと思えます。下記イメージ。詳細な設定方法はサポートサイトよりお問い合わせください。

```
<条件判定>

<条件>
  処理回数 1以下だったら
</条件>

<真>
  部品に値を代入
</真>

<偽>
  何もしない
</偽>

</条件判定>
```